「人間のあらゆる骨は、日が昇るあらゆる日においてサダカを課せられている

アブー・フライラ（アッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は、こう言った： 「人間のあらゆる骨は、日が昇るあらゆ
る日においてサダカを課せられている。二人の間を公正に分けるのもサダカ、人を家畜において助け、彼をそこに乗せてやるか、または彼のためにその上に荷物を載せてやるのもサダカ、よい言葉もサダカ、サラーへと歩いて行く一歩一歩にもサダカがあり、路上から有害なものを取り除けるのもサダカなのである。」
[صحيح] [متفق عليه]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）はこのように説明している：宗教義務を有する全てのムスリムには毎日、骨のあらゆる関節の数だけサダカを課せられている。それは無事安泰な状態と、骨が関節によって伸びたり曲がったりすることに関し、アッラーに感謝する意味で任意に行うものである。 サダカはお金によるものに限定されず、あらゆる善行によって行うことができる。例えば： 争い合う者たちの間を公正に調停することは、サダカである。 乗り物に乗ることが出来ない者を助けて乗せてやったり、荷物を載せてやったりすることはサダカである。 ズィクル、ドゥアー、挨拶といったよい言葉はサダカである。 サラー（礼拝）へ赴く一歩一歩はサダカである。 路上から有害なものを除去することは、サダカである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/4568